

## 中村さん・小関さんのお米 放射能測定結果について

中村さん(福島県郡山市)・小関さん(宮城県大崎市)のお米については、弊社で検出限界各核種 3Bq/kg 程度の測定で不検出だったため、会員の皆様にご案内し販売をして参りました。しかし、これだけ低い検出限界で測定をしても販売不振が続く、大変苦しい状況が続いたため、ゲルマニウム半導体による放射能測定を行いました。(測定機関：同位体研究所)

## 玄米 測定の結果

中村さん：放射性セシウム 134 2.4Bq/kg

放射性セシウム 137 2.9Bq/kg

小関さん：放射性セシウム 134 不検出(検出限界 1Bq/kg)

放射性セシウム 137 1.6Bq/kg

## 白米 測定の結果

中村さん：放射性セシウム 134 0.5Bq/kg、放射性セシウム 137 0.5Bq/kg

精米するとセシウムは約 6 割減ると言われていますが、かなり減っていることが分かります。

これだけ低い数値ながら、宮城県でも検出されたということは、裏を返せば国や自治体が各核種検出限界 20Bq/kg で結果の公表をしていることから、東北関東のお米が 500Bq/kg 以下の米は規制値未満として、セシウム合計 40Bq/kg 以下のものは不検出として広く流通しているということを痛感させられます。

福島原発事故が起き、食の安全が揺らぐ中、果たしてどのようにこの放射能汚染と向き合えばいいのか、名古屋生活クラブは真剣に調べてきました。国が言う規制値では高すぎる。けれど今までも人間は放射能と付き合ってきたという事実。過去 1960 年代からの日本の放射能汚染データによると宮城県の精米で放射性セシウム 137 は最大 0.63Bq/kg (玄米で考えて 2.5 倍すると 1.6Bq/kg)、ストロンチウム 90 は最大 0.063Bq/kg (0.1Bq/kg)。これらの事実をどう解釈したらいいのか。子どもの尿から見る被曝量と健康影響などを考え合わせると、ここ東海地方に住む私たちなら、これまで無頓着だった放射能について気にかけ、今までと同程度かそれ以下に抑えることができれば、福島原発事故による健康影響は抑えられると現在は考えています。気にしすぎてストレスがたまる、健康に有益な魚を全く食べない、このような状況で健康が保たれるとも思えないのです。

今回の放射能測定は会員の方により一層のご理解を頂きたく、外部機関にて検出限界 1Bq/kg で測定しました。測定結果は全て公開するという弊社の原則に基づき、お知らせいたします。

## 三里塚物産の落花生 放射能測定結果について

千葉県三里塚物産の無農薬落花生、新物の放射能測定値が下表の通り公表されました。

三里塚物産の契約生産者は成田氏周辺 7 市町村にまたがり、各地区の生産者ひとりを選んで分析しました。( )は検出限界です。八街市網代和弘さん、山武市麻生禎昭さんはそれぞれ、12 月 3 週たねまき 3-8 ページの表中の落花生①②に相当します。セシウム 134、137 合計で最大 8Bq/kg(香取市香取薫さん)が検出されました。

作付け地	生産者	検査機関	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
香取市	香取薫	日本食品エコロジー研究所	不検出(3)	4(3)	4(3)
酒々井町	高橋みどり	市民放射能測定センター	不検出(3.1)	不検出(5.0)	不検出(5.2)
成田市	池上貴之	市民放射能測定センター	不検出(3.1)	不検出(5.1)	不検出(5.6)
芝山町	宮本貢	日本食品エコロジー研究所	不検出(1)	2(2)	3(2)
東金市	中山隆麿	日本食品エコロジー研究所	不検出(4)	不検出(5)	不検出(6)
山武市	麻生禎昭	市民放射能測定センター	不検出(2.8)	不検出(4.6)	不検出(4.7)
八街市	網代和弘	市民放射能測定センター	不検出(3)	不検出(2.6)	不検出(4.5)

9 月 29 日公表の航空機モニタリングによる、土壌へのセシウム 134、137 合計沈着量は、山武市・東金市・八街市が 10,000Bq/m<sup>2</sup>未満、香取市・酒々井町・成田市・芝山町が 10,000~30,000Bq/m<sup>2</sup>です。千葉県西部の柏市、我孫子市、流山市(60,000~100,000Bq/m<sup>2</sup>)ほどではないが、一定の放射能汚染が認められます。

測定結果については、低い数値であることと、日常的に大量に口にするものではないことなどから、公表して販売することにいたしました。

三里塚物産の平野さんは、市民放射能測定センターの趣旨に全面的に賛同して、たくさんの方の検体の測定を依頼してくれました。三里塚物産は、成田空港に反対する農家が農業で食っていけるようにと、平野さんら支援の学生がはじめた会社です。空港に反対する以上、農薬を使うのは筋が通らないと、無農薬栽培にいち早くチャレンジしました。しかし、反対派農民は地域から孤立していました。成田空港の開港後、やっと 90 年代にはいって、国から正式な謝罪と補償を勝ち取ると、かつての反対派農民やその息子たちが、地域の有機農業を牽引しています。

かつて孤立していた反対派が、いまでは地域の農業全体に責任を負い、それが放射能汚染と風評被害によって壊滅することを、誰より恐れています。

生産者の指定はできません。セシウム合計 8Bq/kg の落花生が入る場合もあるかと思いますが、ご購入については会員様のご判断にお任せしたいと思います。

放射能をまき散らした東電が悪いのは当然です。まじめに無農薬の落花生を生産し、それを地域ごとに細かく放射能測定し、正直に公表しても、その生産者の商品は売れなくなってしまうと思うと、やりきれない気持ちです。